

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 3 区分
【発行日】 令和 7 年 6 月 13 日 (2025.6.13)

【公開番号】 特開 2025-64213 (P2025-64213A)
【公開日】 令和 7 年 4 月 17 日 (2025.4.17)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2025-070
【出願番号】 特願 2023-173790 (P2023-173790)
【国際特許分類】

G 0 6 T 9/40 (2006.01)

H 0 4 N 19/70 (2014.01)

【F I】

G 0 6 T 9/40

H 0 4 N 19/70

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 7 年 6 月 5 日 (2025.6.5)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

点群復号装置であって、

R A H T の A C 係数のインター予測において、前記 A C 係数の予測値又は属性値の予測値に、スケーリングファクタを適用する R A H T 部と、

前記インター予測において使用するスケーリングファクタの個数を導出し、前記個数分だけスケーリングファクタを復号する属性情報復号部とを備えることを特徴とする点群復号装置。

30

【請求項 2】

前記属性情報復号部は、インター予測の有効階層数を用いて前記スケーリングファクタの個数を導出することを特徴とする請求項 1 に記載の点群復号装置。

【請求項 3】

前記属性情報復号部は、階層ごとのインター予測の適用可否モードを伝送するか否かを判定し、前記判定結果に基づいて、前記インター予測の有効階層数の導出方法を制御することを特徴とする請求項 2 に記載の点群復号装置。

【請求項 4】

前記属性情報復号部は、前記階層ごとのインター予測の適用可否モードを伝送するか否かの判定結果が、「階層ごとのインター予測の適用可否モードを伝送する」であった場合、階層ごとのインター予測の適用可否モードを復号し、前記階層ごとのインター予測の適用可否モードに基づいて前記インター予測の有効階層数を導出することを特徴とする請求項 3 に記載の点群復号装置。

40

【請求項 5】

前記属性情報復号部は、前記インター予測の有効階層数から、上位何層目までをインター予測のスケーリング適用外とするかを示す値を減算することで前記スケーリングファクタの個数を導出することを特徴とする請求項 2 から 4 のいずれか一項に記載の点群復号装置。

【請求項 6】

点群復号方法であって、

50

RAHTのAC係数のインター予測において、前記AC係数の予測値又は属性値の予測値に、スケーリングファクタを適用する工程と、

前記インター予測において使用するスケーリングファクタの個数を導出し、前記個数分だけスケーリングファクタを復号する工程とを有することを特徴とする点群復号方法。

【請求項7】

コンピュータを、点群復号装置として機能させるプログラムであって、

前記点群復号装置は、

RAHTのAC係数のインター予測において、前記AC係数の予測値又は属性値の予測値に、スケーリングファクタを適用するRAHT部と、

前記インター予測において使用するスケーリングファクタの個数を導出し、前記個数分だけスケーリングファクタを復号する属性情報復号部とを備えることを特徴とするプログラム。

10

20

30

40

50